

令和6年度富山市安全で安心なまちづくり推進協議会 議事録（会議概要）

1. 日 時 令和6年10月7日（月）
午後2時から午後2時50分まで
2. 場 所 富山市役所東館8階 802会議室
3. 出席者
- | | | |
|-----|--------|-----------------|
| 会 長 | 渡辺 正蔵 | （富山市自治振興連絡協議会） |
| 副会長 | 大西 貞夫 | （富山市身体障害者福祉協議会） |
| 委 員 | 飯倉 正和 | （富山市PTA連絡協議会） |
| | 今川 清司 | （富山商工会議所） |
| | 武部 賢昭 | （富山県商工会連合会） |
| | 林 美沙季 | （富山大学） |
| | 稲澤 透 | （富山県高等学校長協会） |
| | 守田 志津子 | （富山市中学校長会） |
| | 佐藤 寛子 | （富山市小学校長会） |
| | 辻澤 亮子 | （富山市認定こども園協議会） |
| | 松田 真理 | （富山中央防犯協会） |
| | 山崎 郁子 | （富山西防犯協会） |
| | 田島 啓祐 | （富山中央警察署） |

事務局 鎌田防災危機管理部長、浅野防災危機管理部次長
生活安全交通課 柴野主幹、内田主幹、出島副主幹、石黒主事

4. 内 容
- | | |
|--------|--|
| ① 開 会 | |
| ② あいさつ | 鎌田防災危機管理部長 |
| ③ 報 告 | 令和6年上半期の犯罪発生状況について |
| ④ 議 事 | 富山市安全で安心なまちづくり推進条例に基づく
令和6年度の取り組みについて |
| ⑤ 閉 会 | |

5. 審議概要

事務局	令和6年上半期の犯罪発生状況について説明
議長	自転車窃盗が特に目立っているようですが、何か原因があるのでしょうか。
委員	事務局からの説明にもあったとおり、今年は自転車盗がかなり増加しているのが現状です。 最新の数値では、8月末時点で市内3警察署（富山中央署、富山南署、富山西署）管轄での自転車盗発生件数は394件で、前年より180件増という状況でかなり増加しています。 無施錠被害については、394件のうち262件、66.5%が無施錠という状況です。 増加している要因を確定的に申し上げることはできませんが、警察活動の中で感じていることとしては、一つには、コロナによる生活の制限がなくなったことが要因としてあるのではないかと思います。 もう一つの要因としては、無施錠による被害率が富山県は全国平均より高いと以前から言われていて、このことが要因として挙げられます。 今年の特徴としては、自転車盗は、以前は少年による犯罪とか使用目的の犯罪でしたが、今年当署で取り扱った事件の中で、金属買取りを目的とした大量自転車盗難の事例がありました。 これも一つの要因ではないかと思います。 県警としては、無施錠被害の防止のためのカギ掛けの呼びかけを各種取り組みの中で引き続き行っていくとともに、金属買取り業者に対して不審な買取り等に注意するよう呼び掛けて行きたいと考えています。
議長	犯罪発生状況について他に質問はないようですので、次に進めたいと思います。 「富山市安全で安心なまちづくり推進条例に基づく令和6年度の取り組みについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	令和6年度の取り組みについて説明
議長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	資料3にある自主防犯団体への支援について、現在164団体ということですが、この自主防犯団体というのはどのような団体なのか教えてください。
事務局	内訳としては、校下単位の自治振興会が70団体、連合町内会が69団体、単独町内会が22団体、特定非営利法人や事業所の協同組合等の民間団体が3団

	体となっています。
議 長	小学校、中学校、高校の方で、ご意見・ご質問等はございませんか。
委 員	資料3の4ページ(3)「子どもに対する声かけ」の※の部分にあるとおり、道を聞くつもりで事案になる場合もあるということについてですが、小学校では年間指導計画の中で定期的、特に夏季休業前に不審者の指導をしたり、警察による「くもくん教室※」等によって、子どもも家庭も不審者に対する意識が高くなっています。 日頃の町内での挨拶であっても、 ・挨拶を交し合おうということはあるのですが 声を掛けられたことが一寸心配になったり ・公園で遊んでいたら「カメラを向けられた気がする」ということで学校や家庭で話題になったりして、警察に届けるよう指導することもあります。 この件数については、指導によって家庭からも声が上がっている結果ではないかと小学校では考えました。 他にも件数の増加に関わる要因があるとすれば何があるのだろうかと考えています。
委 員	先週、不審者についての情報提供のメールがあり、ちょうど私の勤務校の校区だったので全校生徒に注意喚起したのですが、その日のうちに「行為者を特定しました」というメールをいただきました。 最近、行為者の特定がすごくスピーディーになされていると職員室で話題になっています。 スピーディーな特定は防犯カメラがたくさん設置されていることと関係しているのでしょうか。
委 員	警察から回答します。 先週の不審者情報は刃物様のものを持っている人がいるという小学生からの情報があり、当署で確認しました。 生徒から話を聞き、該当の場所の防犯カメラも確認しています。 こちらで把握している方かなということで行為者が特定され、特定した旨の情報発信をしています。 不審者情報に限らず、犯罪捜査においては、防犯カメラは目に見えてはっきりした情報であり、事案を解決するうえで有益なものと考えています。 特に今回の事案は刃物様のものを持っているということで、入念に確認した上で対応しました。 富山市内は都会に比べるとまだ防犯カメラが少ないといわれている中で、防

	犯カメラの数を増やすことが不審者の特定につながると考えています。
委 員	子どもに対する声かけやつきまといは高校生に対しても相応の件数が発生しているということでした。 先日、校長の研修会で、あるアンケートの結果の発表があったのですが、それによると、「あなたがよく話をする相手は誰ですか」という質問に対して、一番は友達、二番目は家族で、三番目以降は極めて少ないという結果でした。 今の高校生は大変よくしゃべるのですが、アンケート結果によると、話す相手が限定されていて、好きな友達や家族以外とは殆どしゃべっていないということであり、認識を新たにしました。 気さくで人懐っこい面がある一方で、初対面の人に声を掛けられるとどうしてよいかわからないとか、いい人そうなら言うことを聞いてしまうという面もあるのかなと思い、日頃からいろいろな人と話す機会を作るように行事や探究活動をすることが大事ではないかと思っています。 見守り活動やパトロールで街を見守ってくださいますが、まだ子どもというか、心配な面も多々あると思いますので、高校生にも声かけをしていただければと思っています。
委 員	特殊詐欺や闇バイトに侵入される被害が、富山県でも起こっていると思います。 ただ、旧富山市内に対して、旧町村部には家も点在しており防犯カメラも少ない地域もあります。 そういう地域の防犯対策をどのようにしていったらよいでしょうか。 また、一個人の問題と言えはそれまでですが、こういう呼びかけをしても届いていない人がいることに対して、何とかする方法を考える必要があるのではないかと思います。 どのように取り組むべきか、お願いします。
事務局	特殊詐欺が多いことに関しては、富山市で出前講座を行っています。 昨年度は、消費生活センターで実施した講座は 42 回で参加者 946 名、生活安全交通課で実施した防犯の出前講座は 8 回で参加者 168 名でした。 今年度の 4～9 月までの間でも、消費生活センターで 26 回、生活安全交通課で 4 回、講座を実施しています。旧町村においても、町内会や高齢者団体に対してこのような出前講座を通して呼び掛けて行きたいと思っています。
委 員	回答が難しい質問だと思っています。 今年は特殊詐欺がかなり増えていて、県内の最新数値で約 400 件、13 億 3000 万円強と、かなり大きな被害が発生しています。

	手口としては、以前から言われているオレオレ詐欺や架空請求詐欺に加え、今年は SNS 利用の詐欺や投資詐欺、ロマンス詐欺も多く発生しています。 以前と違う点として、これまで主に高齢者が被害に遭っていましたが、今年は若い人も含めて様々な年齢層が被害に遭っていると感じます。 特殊詐欺は 10 年以上、手口を変えながら発生していますが、対策としては引き続き SNS 等の新しい手口について地域の方に注意を呼び掛けるとともに、詐欺を止めることができる可能性のある金融機関やコンビニ等に対して被害抑止を警察から働きかけて行きたいと思っています。
委 員	これは非常に難しい問題で、呼びかけたり広報に載せたりしても見ていないということがあります。 被害者のうち 60 歳以上が全体の 3 分の 2 を占めていますが、こういった人たちが見たり聞いたりしているかどうか…？ この点をどうやったら周知していけるか、非常に難しい問題だと思いますが、何とか考えていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。
議 長	議事については以上ですが、今後、安全で安心なまちづくりを推進していくうえで、他にご意見などはございませんでしょうか。 また、身近で発生した犯罪事例、防犯対策など、どのようなことでも結構ですので、ご発言ください。
委 員	質問ではありませんが、この資料では犯罪発生状況部分も含めて、表やグラフを用いてうまく作られています。たまにしか見ない者としては、市のデータと県のデータが混在していて、説明を聞きながらスケールを切り替えるのが難しく感じました。 また、例えば資料 1 では刑法犯認知件数の増減が富山市では 22.3% となっていますが、普段からこのような数字に接していないと、件数が減ったようにも見えてしまいます。 前年同期比 122.3% という表記の方が分かりやすいのではないかと思います。 県が作るデータと市で作るデータを変換するなど努力されているとは思いますが、誤解しにくいように工夫していただければと思います。
議 長	本日は、いろいろなご意見やご提言をいただき、誠にありがとうございました。 これからも委員全員で、富山市が実施する「犯罪のない安全で安心なまちづくり」実現に向けての施策を見守りながら、必要な意見については、事務局へ伝えていきたいと考えております。 委員の皆様におかれましても、忌憚なきご意見を事務局にお伝えいただきま

	すようご協力をお願いいたします。 それでは、これもちまして議事を終了いたしたいと思います。 委員の皆様には、円滑な会議進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。
--	--

「くもくん教室」とは、

富山県少年サポートセンターで、小学校低学年の児童(1年～3年)を対象に、実施している。

内容は、絵本「おしえて！くもくん」を教材にして

- ・プライベートゾーンとは
- ・他人のプライベートゾーンを無理やり見たり触ったりしない
- ・触られそうになったら、はっきりと「いや」と拒否する
- ・いやな目に遭っている友達などを見つけたら助けてあげる
- ・困ったときは大人に相談する

について、空から子供たちを見守っている雲のキャラクター「くもくん」がわかりやすく教えている。